

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【公表番号】特表2003-534931(P2003-534931A)

【公表日】平成15年11月25日(2003.11.25)

【出願番号】特願2001-587977(P2001-587977)

【国際特許分類】

B 26 D 3/28 (2006.01)

【F I】

B 26 D 3/28 610 F

B 26 D 3/28 610 K

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年3月25日(2011.3.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

食品をスライスする装置であって、切断刃(4)を含み、前記切断刃は回転する態様で駆動されることと軌道周回態様で円運動を行うこととのうちの少なくとも1つを行い、その切断面は食品供給装置(1)の食品支持面(2)に垂直に延在し、前記切断刃側の前記食品支持面(2)の端部が切断端部(3)によって画定され、前記切断端部(3)は、前記切断刃(4)と共に切断ギャップを形成し、

前記切断端部(3)は前記切断面に垂直に移動可能に支持されて接合部(6)に対して付勢され、

前記切断端部(3)は当該付勢に抗して各刃の進路で前記切断刃(4)と少なくとも接して前記切断端部(3)は前記付勢に抗して前記切断面に垂直に移動されるよう、前記接合部(6)が位置しつつ前記切断端部(3)が構成されている、

ことを特徴とする装置。

【請求項2】

各刃の進路で生ずる前記切断端部(3)の前記切断面に垂直な移動が10分の2ミリメートルから10分の3ミリメートルの範囲にあることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記切断端部(3)が、ばね要素(5)できている少なくとも1つの弾力性を有する要素によって付勢下に置かれることを特徴とする請求項1または2記載の装置。

【請求項4】

前記切断端部が前記切断刃の差し込み領域において少なくとも1つのガイド面(8)を有し、前記ガイド面(8)の最上部が前記切断端部(3)の前面に対して引っ込められるよう前記ガイド面(8)が傾いていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1つに記載の装置。

【請求項5】

前記切断端部(3)がプラスチックまたはスチール素材できていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1つに記載の装置。

【請求項6】

前記切断端部(3)は前記食品供給装置(1)のガイド面(7)によって移動可能に支持されていて、前記切断端部(3)が前記ガイド面(7)上に2~3mmの範囲で軌道を

有することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1つに記載の装置。

【請求項7】

食品をスライスする装置であって、切断刃(4)を含み、前記切断刃は回転する様で駆動されることと軌道周回様で円運動を行うこととのうちの少なくとも1つを行い、切断面が食品供給装置(1)の食品支持面(2)に垂直に延在し、前記切断刃側の食品支持面(2)の端部が切断端部(3)によって画定され、前記切断端部(3)は、前記切断刃(4)と共に切断ギャップを形成し、

前記切断端部(3)が前記切断面に垂直に移動可能に支持されており、前記切断刃の前記移動及び寸法的特徴のうちの少なくとも1つに基づいて制御される能動的に作動する装置に接続されて、各刃の進路で、前記切断刃と前記切断端部とが、サイズを前もって設定できる切断ギャップを形成することを特徴とする装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

本発明に基づき、この目的を、切断端部が切断面に垂直に移動可能に支持されて接合部に弾性的に付勢され、かつ、切断端部が当該付勢力の反対側の各刃の進路で少なくとも刃に接し、特に付勢力に抗して（または反対に）わずかにそれるように、接合部が配され切断端部がなされることで満足させる。

切断端部は、切断刃と共に切断ギャップを形成し、本設計によると、その基本位置から必要最低限量だけ移動される。この移動の大きさは10分の2ミリメートルから10分の3ミリメートルの範囲内である。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

接合部6で切断面の方向における切断端部3の可動性が留められて、切断端部3が最大で10分の2ミリメートルから10分の3ミリメートルだけ切断刃4の切断軌道上に飛び出しえることが保証される。切断端部3は切断面の方向に付勢されていて、実際少なくとも1つのスプリング要素5によるものである。

切断端部3が、各切断、即ち切断刃4との各連携でスプリングの付勢力に抗してわずかに移動され得るということを保証するために、切断端部3はわずかに傾いたガイド面8とナイフの差込み領域で適合する。実際、わずかに傾いた、短いガイド面8は、最上層点が例えば約1mmまで切断端部の前面に対して引っ込められ、その後垂直方向へ1つになる。